

【樹木の部屋】

ベニバナニシキウツギ

(スイカズラ科タニウツギ属 *Weigela decora* f. *unicolor*)

和名：ベニバナニシキウツギ(紅花二色空木) 別名： 英名：

マツムシソウ目 落葉低木 原産地：

花言葉： 花の色：赤

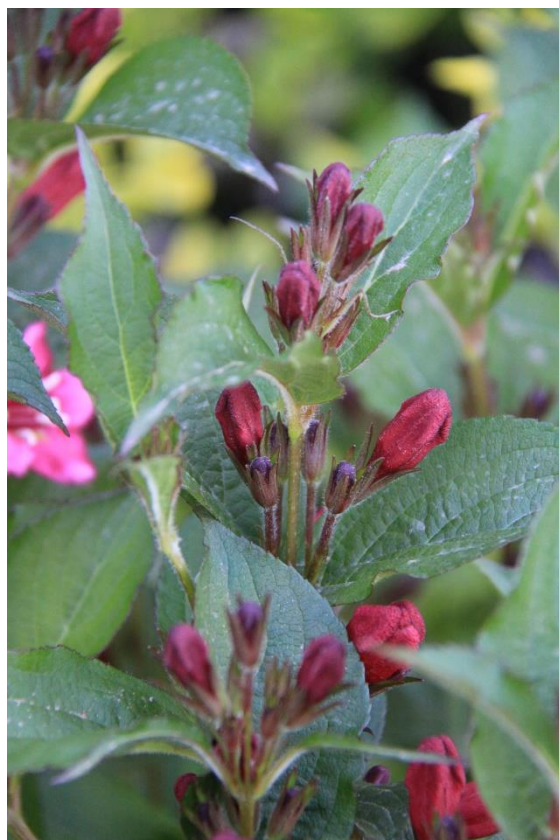


← 写真-1 ベニバナニシキウツギ

撮影日：2018年04月21日

撮影場所：カランバカ(ギリシャ)にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 ベニバナニシキウツギ

撮影日：2018年04月21日

撮影場所：カランバカ
(ギリシャ)にて

撮影者：M さん

ギリシャ北部の街、カランバカで宿泊したホテルの花壇に植栽されていました。タニウツギの仲間だとは想像できましたが・・・。帰国後、調べて見ると、ベニバナニシキウツギでした。

ベニバナニシキウツギはニシキウツギの変種で、ニシキウツギはふつう白から紅に花色が変化しますが、ベニバナニシキウツギは咲き始めから濃い紅色をしています。

葉は広楕円形～楕円形で先が急に尖り、縁に細かな鋸歯があります。5月から6月ごろ、枝先や葉腋に散房花序をだし、紅色の花を2～5個咲かせます。花冠は漏斗状鐘形で、先端は5裂します。花柱は花冠から突き出ます。

ベニバナハコネウツギと酷似していますが、花を横から見てあまり急に太くならないこと、及び葉裏の脈に毛があることが区別点です。

わが国の本州、宮城県以南の太平洋側から四国、九州に分布し、日当たりの良い山地に生え、高さは2～5メートルになるそうです。